

リハビリテーション部からの研究に関するお知らせ

研究のためにカルテの情報を使用させて頂いています

◎心不全、心臓外科手術で入院された患者さん

1、研究の題名 『心不全患者および心臓外科術後患者における入院前の運動習慣が入院中の早期歩行に及ぼす影響』

研究期間： 倫理委員会承認後 ～ 2023年12月31日

2、研究の目的

入院後早い段階でのリハビリテーションは在院日数を短縮させる効果があるとともに、入院後早期の歩行開始は心不全による再入院に関連があるとの報告がなされている。今後高齢者や心不全患者が増加していく中で、筋力や歩行速度、筋肉量などの低下は心不全の死亡率を高める要因である。したがって、入院後早期に歩行を開始することによって身体機能の低下を予防することは重要な課題である。

運動習慣は死亡率や体力、体重、呼吸機能、歩行速度、動脈の硬さ、コレステロール、血糖値、筋力、バランスと関連する。したがって、運動習慣は生命予後や身体機能と関連がある重要な要素である。しかし入院前の運動習慣が、入院後あるいは術後に早く歩行を開始することや、入院中の身体機能が変化することに対する影響に関する報告はされてない。

そこで、入院前に運動習慣があるものは、心不全の入院後あるいは術後の歩行開始までの日数が短く、入院中の身体機能低下を予防できる一つの要因であるという仮説を検証する。

3、以下の期間に上記（◎対象となる患者さん）を満たした方が対象です

対象期間： 2019年1月1日 ～ 2022年12月31日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、身長、体重、運動習慣の内容、検査データ（心エコー、血液検査）、治療（薬の種類、手術の方法）、人工呼吸器の使用期間、リハビリ内容（座位開始日、起立開始日、歩行開始日、有酸素運動開始日、リハビリ日数、初回評価から最終評価までの日数、認知項目得点、感染や心不全悪化の有無）、身体機能（握力・歩行速度・立ち上がり速度・バランス）

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院 で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様責任を持ちます。

(科名又は部署名) リハビリテーション部

(研究責任者名) 井本 俊之

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先) 0948-22-3800

(担当者名) 横手 翼